

組織(チーム)のメンバーに多様性が必要な理由と、
多様性のある組織(チーム)を機能させる方法を身につけたい方へ

組織を凋落させない

多様性(ダイバーシティ)マネジメント力向上研修

～最先端の組織やチームが成功戦略として多様性を取り入れる理由を知り、その実践方法を学ぶ！～

と き

2023年 9月 28日(木) 9:30～16:30

開催形式

会場(中産連ビル 研修室) または オンライン(ZOOM配信)

ご参加
いただきたい方

●経営層・管理職・チームリーダーの方

- ① 多様性を時勢やムードという同調圧力によって取り組むのではなく、戦略として前向きに取り組む真の理由を腹落ちさせたい方
- ② 閉塞感や停滞感に支配された組織やチームを、透明性や開放感あふれる方向に変えていきたい方
- ③ 多様性が活きる組織やチームのつくり方を実践ベースで身につけたい方

**“同質性の罠”にはまって組織やチームに起こってしまった数々の失敗を題材に、
多様なメンバーこそが活きる管理職やリーダーに必要な「創発システム」のつくり方を学びます！**

およそ10年ほど前から、「多様性(ダイバーシティ)」という言葉を目にする機会が急速に増えてきました。
多くのビジネスパーソンにとって「多様性(ダイバーシティ)」というのは、

- ・1人ひとりの個性、人格、出自を差別することなく尊重して公平に受け入れ
- ・集合知での仕事を「部分の総和ではなく、掛け算レベルでの相乗効果」が発揮できるように組織やチームを作りましょう

という人格尊重に偏重したイメージが今の世の中には強いかもしれません。

この2つの概念は実際、SDGsにおける17項目の目標の中にしっかりと明文化されており、特に欧米企業と取引をする企業はISOと同様に看過できない重点施策項目であることから、令和の時代の今、より健全な企業活動を行っていくための鍵概念になります。

しかし、「多様性(ダイバーシティ)」が組織やチームに必要と言われる本質は別のところにあります。

その理由として、

- ① できる(優秀な)社員ばかりを集めても競合他社に勝てない可能性が実際に高いこと
- ② 金太郎飴的な同質集団を形成してしまうと、問題(特に真因)に気づけなくなり、やがて組織は凋落してしまうこと
- ③ 企業活動や組織運営の拠り所となるファクト(事実や1次情報)には、実は大きな落とし穴があること
- ④ 標準化や分析のスキルはそれ自体は大変役立つスキルである一方で、大きなリスクもはらんでいること
- ⑤ グーグルですら当初気付かなかった「賢者の盲点」とは

があり、上記5つが起こった原因の共通点として挙げられるのが「多様性」と反対の概念である「同質性」が挙げられるのです。

そこで、本研修では、

- ① 多様性にあふれた組織と同質性の高い組織それぞれに起る現実
- ② 管理職やリーダーとして、組織やチームに多様性をもたせて、成功を足し算ではなく“かけ算”にしていけるためには、どういう意思決定をし、どういった行動を取っていくのが適切なのか
- ③ そのために、多様性を取り入れて仕事の成果につなげたお勧めの取組みや企業事例

を学び、理論体系の理解とシミュレーショントレーニングをはじめとした様々な演習によって、チームの多様性を強化するマネジメント実践力の向上に自信と手応えをつかみます。

もし今、

- ・メンバー個々の知識とスキルの総和がチームの仕事の成果に直接結びつかずに困っている管理職やチームリーダーの方
- ・同質性が強くて変化への対応に腰が重く、革新的な仕事にほとんど取り組めていない組織の管理職やチームリーダーの方
- ・逆に自チームは多様性が強いながらも、メンバー個々がバラバラで結束できておらず、チームが機能していないとお困りの方など

自組織や自チームに多様性を持たせて、メンバー個々の仕事の成果を“かけ算”にしたい管理職やチームリーダーの方は本研修にご参加いただくことによって、迷いや逡巡から抜け出し、新たな一步を踏み出す機会をつかむことができます。ぜひご参加ください。

◆研修プログラム（ 9:30～16:30 ）

1. はじめに

- (1)研修の目的と全体像の説明
- (2)講師と受講生の自己紹介

2. 多様性マネジメントの必要性

講義、演習

- (1)多様性マネジメントの実現にはD&Iでは片手落ちになる
- (2)今、組織マネジメントにおいて「D&I」に加えて「E」も必要なる理由
- (3)アンコンシャス・バイアス(無意識の偏見)が生む悪影響とは
- (4)古い価値観のアンラーンし、不易流行の視点を取り入れることで組織に生まれる多大なメリット
- (5)強い選手だけを揃えようとするスポーツチームが勝てない理由
- (6)画一的集団に内在する死角と畏

3. 多様性のある組織が駆動するマネジメントの着眼点と実践

講義、演習

- (1)組織改革のための意識改革 ～組織の凋落を予防する
- (2)イノベーションには2つのタイプがある
- (3)イノベーションと多様性組織との相関関係
- (4)標準化・平均値・分析偏重・事実データの落とし穴
- (5)標準化で享受するメリットに併存する大きなデメリット
- (6)DE&Iを土台に組織マネジメントを駆動させるコミュニケーション方法
- (7)ヒエラルキーの指標は“尊敬”で決める ～グーグルの失敗から学ぶ
- (8)緊急度が重要度を駆逐する

4. 研修の総まとめ

- (1)DE&Iを推進するアクションプランの設定
- (2)全体の振り返り、質疑応答 (3)講師からのメッセージ

講 師

中産連パートナー講師（組織活性化コンサルタント）

電子機器メーカーにて総務人事、役員秘書、採用・教育を担当後、人事部門の責任者となる。その後、外資系企業に転じ、シニアセクレタリーとして人材育成プロジェクトを担当後、講師&コンサルタントとして独立。ダイバーシティ推進、職場の心理安全性づくり、ビジネスコミュニケーション、リーダーシップを専門領域に活躍中。アクティブ・ラーニングによる相互啓発を促進する研修スタイルは、受講者の主体性や学ぶ力を引き出してもらえると好評。年間約200回の研修に登壇している。

組織を凋落させない多様性(ダイバーシティ)マネジメント力向上研修(9/28) 参加要項／参加申込書

参加費（1名様）		中産連会員	中産連会員外	★事後行動支援のラーニングコーチが、研修での学びと実際の 実務を紐付け、行動とマインドの変容をしっかりと後押しします。
	セミナー受講のみ	33,000円(消費税込)	38,500円(消費税込)	
	フォローアップ(事後行動支援)付き★	39,600円(消費税込)	45,100円(消費税込)	
申込方法	●中産連ホームページの各セミナー詳細よりお申込みください。(https://www.chusanren.or.jp) 申込みが完了しますと、申込責任者のメールアドレスに「申込完了メール」が届きます。 ●ファックスでのお申込みも可能です。下記申込書に必要事項を記入の上、切り取らずに送信してください。 ●フォローアップ(事後行動支援)を希望される方は下記申込書の欄に「レ」を入れてください。 ※コンサルタント及び教育機関の方のお申し込みはお断りしております。ご了承ください。			
受講までの流れ	<会場受講の場合> 受講票と請求書を開催日の約2～3週間前に申込責任者宛へ郵送します。 <オンライン受講の場合> ①開催日の約1週間前になりましたら、「参加用URL」「ミーティングID」「パスワード」をメールにてご案内します。 ②テキストと請求書は開催日の約1週間前に申込責任者へ郵送します。 【オンライン受講の注意事項】 ・配信システムはZoomを使用します。Zoomがインストールできるカメラ付きパソコンをご用意ください。また、イヤホン付きマイクのご使用を推奨します。 ・接続が切れないよう有線のLAN環境での受講を推奨します。また、接続先環境に起因する音声・映像障害などについては保証しかねますのでご了承ください。 ・IDを共有してのご利用や、画面を投影してのご利用など、参加者ご本人以外の使用はお断りします。 ・研修の撮影・録音は固くお断りします。			
キャンセルについて	お客様のご都合によりキャンセルされる場合には、以下のキャンセル料を申し受けます。 ・会 場 受 講 の 場 合 ： 開催日の前日（土日祝日を除く）・当日・・・・・・・・受講料の100% ・オンライン受講の場合 ： テキスト発送後（開催日の約1週間前）・・・・・・・・受講料の100% ※テキスト発送日はセミナーにより異なりますので下記担当者へご確認ください。			
申込み・問合せ先	一般社団法人中部産業連盟 マネジメント研修事業部 小橋川 〒461-8580 名古屋市中区白壁3-12-13 TEL052-931-9824 FAX0120-342-340 e-mail : kohashikawa@chusanren.or.jp			

年 月 日

会社名

〒

所在地

TEL

FAX

参加形態	フォローアップ (事後行動支援) を希望(✓)	参加者 所属部課・役職名	参加者氏名(フリガナ)	年齢	E-mail アドレス
☐ 会場 ☐ オンライン			-----		
☐ 会場 ☐ オンライン			-----		
☐ 会場 ☐ オンライン			-----		

申込責任者 所属部課・役職名	申込責任者氏名(フリガナ)	E-mail アドレス

会社概要	業種(主要製品名)	資本金	従業員数	今回ご記入いただく個人情報は、セミナー等の運営・情報提供(郵便、メール、FAX等)においてのみ使用致します。 詳細は当連盟HP(http://www.chusanren.or.jp/privacy/index.html)をご覧ください。 同意のうえ、ご協力をお願い致します。関連情報が不要の場合には下記に①点のご記入をお願い致します。 ☐ セミナーなどの関連情報の案内を希望しない
		百万円	人	
中部産業連盟会員(○印をお付けください)		会員	・	会員外